

国語科学習指導案

令和3年10月 第1学年 指導者 見城 由昭

1 単元名 構成を工夫して魅力を伝える (スピーチ)

2 学習指導要領上の位置付け

- (1) 原因と結果、意見と根拠などの情報と情報との関係について理解すること。
(知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項ア)
- (2) 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。
(思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くことイ)
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

3 目標

- 話の構成を考えてスピーチをする活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 意見と根拠など、情報と情報との関係について理解すること。
(知識及び技能)
- イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。
(思考力、判断力、表現力等)
- ウ 言葉がもつ価値に気付くとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとすること。
(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（3／5）

(1) ねらい

条件と目的に応じて話の中心的な部分と付加的な部分を検討する活動を通して、話の構成を考えることができるようにする。

(2) 展開

<p>学習活動 ・予想される生徒の反応</p>	<p>時間</p>	<p>○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）> 〔記〕記録に残す評価</p>
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>10分</p>	<p>○スピーチの時間を45秒から90秒に変更することで、付加的な部分を効果的に組み入れた構成を考えられるようにする。</p>
<p>〔めあて〕 発表会を見据え、指定されたスピーチの条件の中で、相手に考えが伝わるように構成を考えよう。</p>		
<p><本時の条件> ① スピーチ時間は90秒。 ② 相手は3～4人の小グループ ・90秒という時間を有効に使って、複数の相手に話すためには、どのようなことに気を付ければよいのだろう。</p>		<p>○前時までのトークプランを見直して、加える内容を考えさせる。 ◎前回のトークプランからの変容が分かるよう、タブレット端末を用いることを伝える。</p>
<p>2 トークプランを使用して、相手と話す内容や構成について検討したり、スピーチの練習をしたりすることを通して構成を考える。 ・中心部分は前の時間と同じでよいだろうか。 ・時間が長くなったので、偉人の紹介を多く入れてみようかな。 ・偉人が好きな理由を通して自分が興味をもっていることを相手に知ってほしいから、最後に思いを話そうかな。 ・偉人について調べたことを増やして話そうかな。</p>	<p>15分</p>	<p>○伝えたい内容のうち、これまで話に組み込めなかった付加的な部分と中心的な部分をどのように構成すると効果的なスピーチになるのか考えさせる。 ○最も伝えたいことの配置を考えさせ、効果的に相手に伝えるためにどのように構成すればよいかを考えさせる。 ○条件に合わせて付加的な部分を増やす必要があるか考えさせる。 ○小グループの相手の注意を引くための工夫を考えさせる。 ○構成を考えた生徒は、スピーチの練習をした上で構成を変更するよう指示する。 ◎うまく話せない場合には、トークプランの付箋紙を増やしたり、カードの順序を変えたりして話すよう伝える。</p>

<p>3 話の構成や工夫や理由を発表し合い、全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の関心を増すために偉人の紹介を詳しくしたり、調べたことを事実として付け足したりした。 ・呼びかけの言葉を入れ、複数の相手の興味を引こうと工夫した。 ・最も伝えたいことを繰り返した。 ・色分けを使って最も伝えたいことが分かるようにした。 	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○工夫したことを発表させ、うまく話せない生徒への支援になるよう教師が解説する。 ○工夫したことを全体で共有し、必要に応じてトークプランを変更してよいことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、スピーチの条件と目的に応じて自分の考えを伝えるために話の構成を考えようとしているかを確認する。 <p style="text-align: right;"><記述・観察(2)記></p> </div>
<p>4 構成を再度練り直した上で、小グループでの発表会を行い、本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成を考えて話すことができた。 ・最も伝えたいことを意識して話すことができた。 ・うまくできなかったことを次の時間に修正したい。 	<p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○共有した工夫を基に自分のスピーチの構成を考えさせる。 ○スピーチした相手に対して工夫していることやよかったことなどを伝えさせる。 ◎発表会の様子を端末で撮影させ、本時で作成したトークプランとともに提出させる。 ○本時の取組を称賛するとともに、次回はスピーチ発表会をすることを伝え、学習内容への意欲付けをする。

6 板書計画

構成を工夫して魅力を伝える スピーチ

偉人について紹介することで、自分を知ってもらうためのスピーチ発表会を開こう。

「めあて」

発表会を見据え、指定されたスピーチの条件の中で、相手に考えが伝わるように構成を考えよう。

スピーチの条件

① 話す時間は九十秒

② 相手は三〜四人の小グループ

○条件が変わったことでのどのような工夫ができるのだろうか？

相意思識をもって

- ・偉人の紹介を詳しくした。
- ・呼びかけの言葉を入れ、複数の相手の興味を引こうと工夫した。

自分の考えが明確に伝わるように

- ・最も伝えたいことを繰り返したことで自分の思いを伝えることができた。
- ・偉人が好きな理由を詳しく話し、自分の興味のあることを伝えた。
- ・調べたことを事実として付け足したことで、説得力のあるスピーチができた。

指導計画 国語科 第1学年 単元名「構成を工夫して魅力を伝える」(全5時間計画)

目標	<p>話の構成を考えてスピーチをする活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 (知識及び技能(2)情報の扱い方に関する事項ア)</p> <p>イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。 (思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くことイ)</p> <p>ウ 言葉がもつ価値に気付くとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 (学びに向かう力、人間性等)</p>			
評価規準	<p>(1) 意見と根拠の関係について理解している。 【知識・技能(2)ア】</p> <p>(2) 「話すこと・聞くこと」において、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 【思考・判断・表現】</p> <p>(3) 積極的に相手と関わりながら学習の見通しをもってスピーチの構成を考え、自分の思いを相手に伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>			
過程	時間	○ねらい めあて	・振り返り(意識)	評価項目 <方法(観点)> 〔記〕記録に残す評価
つかむ	1	<p>○話題に関心を持ち、相手に最も伝えたいことやその理由を明確にしてスピーチの内容を検討することができるようにする。</p> <p>偉人について紹介することで、自分を知ってもらうためのスピーチ発表会を開こう。</p> <p>紹介したい偉人を選び、最も伝えたいことや理由を考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の興味のあることを相手にも知ってもらいたいため、最も伝えたいことをスピーチのどの部分で話せばよいのだろうか。 話す内容をトークプランに書き出すと、最も伝えたいことやもっと調べておきたいことが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が伝えたい話題を決め、最も伝えたいこととその理由を整理しながらスピーチの内容を検討している。 <p><記述・発言・観察(1)> 〔記〕</p>
追究する	1 (本時)	<p>○短いスピーチの時間と、ペアの相手に分かりやすく伝えようとする目的に基づいて話の構成を考えることができるようにする。</p> <p>短いスピーチ時間の中で、相手に考えが伝わるように構成を考えよう。</p> <p>○条件と目的に応じて話の中心的な部分と付加的な部分を検討する活動を通して、話の構成を考えることができるようにする。</p> <p>発表会を見据え、指定されたスピーチの条件の中で、相手に考えが伝わるように構成を考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> トークプランを使って、中心的な部分をどの位置に置くとよいかが分かった。 スピーチの時間が長ければもっとたくさんのことを相手に紹介することができそうだ。 構成を変えたり伝える内容を多くしたりするなど、条件に応じてトークプランを変えて話せばよいことが分かった。 偉人を紹介する中で、自分が興味をもっていることや自分の考えなどについても紹介したい。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチの条件と目的に応じて自分の考えを伝えるために話の構成を考えている。 <p><記述・観察(2)>〔記〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手のスピーチに対して感想や評価を伝え合ったり、相手の評価を自分のスピーチに生かそうとしたりしている。 <p><観察・記録(3)></p>
まとめる	1	<p>○単元の学習を振り返る活動を通して、工夫した構成や効果的な話し方などを様々な場面に生かしていこうとする意欲を高める。</p> <p>単元の学習を通して学んだことや、これからは生かせることを考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> トークプランにメモしてきたことを、少しずつメモを使わずにできるようにしていきたい。 学校生活や他の教科でも学習したことを生かしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことが他の授業や活動に生かせることに気付き、話すことに前向きに取り組もうという思いを記述している。 <p><記述・観察(3)>〔記〕</p>